

中九州横断道路 大津熊本道路(合志～熊本) 本年度事業化が決まりました

●問い合わせ先 国土交通省 熊本河川国道事務所 調査第二課 ☎382-1242
市建設課 維持管理班 ☎248-2345

中九州・地域高規格道路推進期成会

大分市～熊本市間の地域高規格道路の建設を目指して、平成5年に中九州・地域高規格道路推進期成会が設立。関係団体とともに、国土交通省をはじめとする関係機関へ要望活動を進めてきました。昨年4月には大分県竹田市と阿蘇市を結ぶ、竹田阿蘇道路が事業化決定。続いて今回の大津熊本道路(合志～熊本)の事業化となりました。

今後も引き続き要望活動を行ない、大津～合志間の早期事業化、中九州横断道路全線開通の早期実現に向けて強く求めていく予定です。

大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路(総延長約120km)の一部となる大津熊本道路(合志～熊本)の事業化が決まりました。片側2車線の自動車専用道路で、大津熊本道路の事業費は約530億円が見込まれています。事業化された上庄から熊本市北区大鳥居町までの区間(約9.1km)では、本年度政府予算に調査設計費として5千万円を計上し、本年度から調査測量が始まります。計画路線沿線には半導体や自動車関連企業が集まっており、物流の時短や渋滞緩和などの効果も期待されています。調査測量はドローン撮影による航空測量などが計画されています。

道路開通までの流れ

- ①事業の概略説明
概略の図面で計画した基本設計をもとに地域の関係者の皆さんに説明します。
- ②測量・地質調査
関係者の了解を得て現地の測量や地質などの調査を実施し、現地の状況を把握します。
- ③道路実施設計
現地調査の結果に基づき、詳しい道路の設計を行ないます。
- ④設計説明・協議
できあがった設計図をもとに、地域の関係者と道路の高さ、取付道路の内容などについて協議します。
- ⑤用地幅杭設置
道路用地として必要な幅を示す幅杭を設置します。
- ⑥用地調査
用地の買収や家屋移転などの協議を行ないます。
- ⑦用地説明・協議
- ⑧用地買収
- ⑨工事説明
- ⑩工事
- ⑪道路の開通

現地測量を行ないます

事業化に伴い、現地の測量を行ないます。測量は設計を行なうために必要

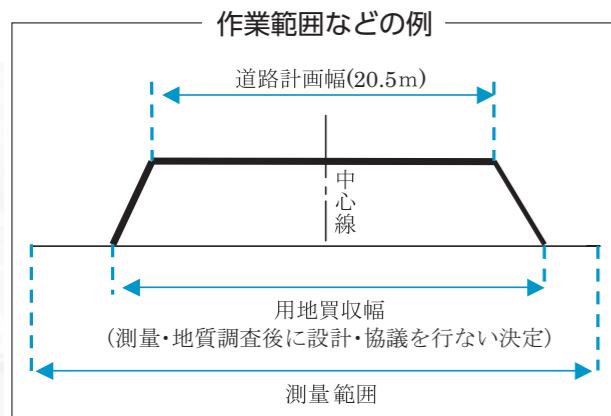


▲ドローン(UAV)による測量



▲光波機器などによる測量

測量の方法
実際の作業では、次の2種類の機器などを使用して作業を行ないます。
①ドローン(UAV)による測量
※ドローン測量の範囲は道路計画中心線から40m(全幅80m)の予定です。天候条件に注意し、機器の落下のないよう注意して作業を実施します。
②光波機器などによる測量
※測量の際に簡易的な枝打ちや下刈り程度の伐採を行なう場合があります。ご了承ください。



測量の内容

- ①基準点測量
道路の計画線に沿って、位置緯度・経度の基準となる基準点を現地に設置します。
- ②水準測量
高さ(標高)の基準となる水準点を現地に設置します。
- ③ドローン測量
高度50mを飛行します。
・標定点、検証点の設置
・水平位置と標高の基準になる標定点、検証点を現地に設置します。
※標定点、検証点はドローンの飛行が終われば撤去します。

測量時の新型コロナウイルス対策

- ・測量時にはマスクを着用します。
- ・作業従事者全員に検温を実施します。発熱の症状がある作業従事者には、作業させません。
- ・作業従事者と第三者との3密を避け、測量を行ないます。
- ・作業従事者の中で新型コロナウイルス感染の疑いが生じた場合は、測量を一時中止します。

大津熊本道路(合志～熊本)概要図

